

<指導上のポイント>

「視覚的記憶」の問題は、入試でよく出題されるものの一つです。それには当然理由があります。この問題で、記憶力・注意力・知識・構成把握能力・学習能力など、非常に幅の広い範囲の能力をテストできるからです。特に、学習能力は学校生活だけでなく、性格・人柄まで左右し、結果的にその子供の人生を決定付けることになるので、とても重要な能力と言えるでしょう。「視覚的記憶」の問題は、これら全ての能力育成に効果を発揮します。ですから、「視覚的記憶」の問題はきちんとマスターしておくべきです。

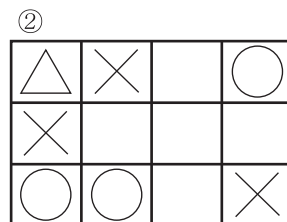
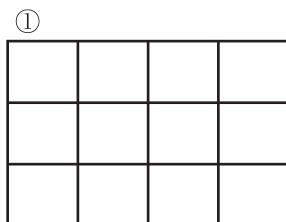
視覚的記憶の問題は、表面的には種類が非常に多くあるように感じられますが、どのような問題であろうと、結局は目で見たものが脳に焼き付いているかどうかにつきます。それ以前に、目の前にあっても回答できないのであれば、構成把握能力などの育成を先にするべきでしょう。

この問題集の使い方ですが、各問題をキリトリセンで切り離し、15秒～20秒ほど見せてから解答させましょう。見せる時間は子供の能力次第で調整してください。

視覚的記憶能力を高める方法は、家庭でも簡単に行えます。下記のような要領で、一日2～3題のトレーニングを行ってください。3歳児から老人まで効果があります。（能力育成問題集7 位置の記憶①、8 位置の記憶②、9 位置の記憶③も援用すればより効果的です）

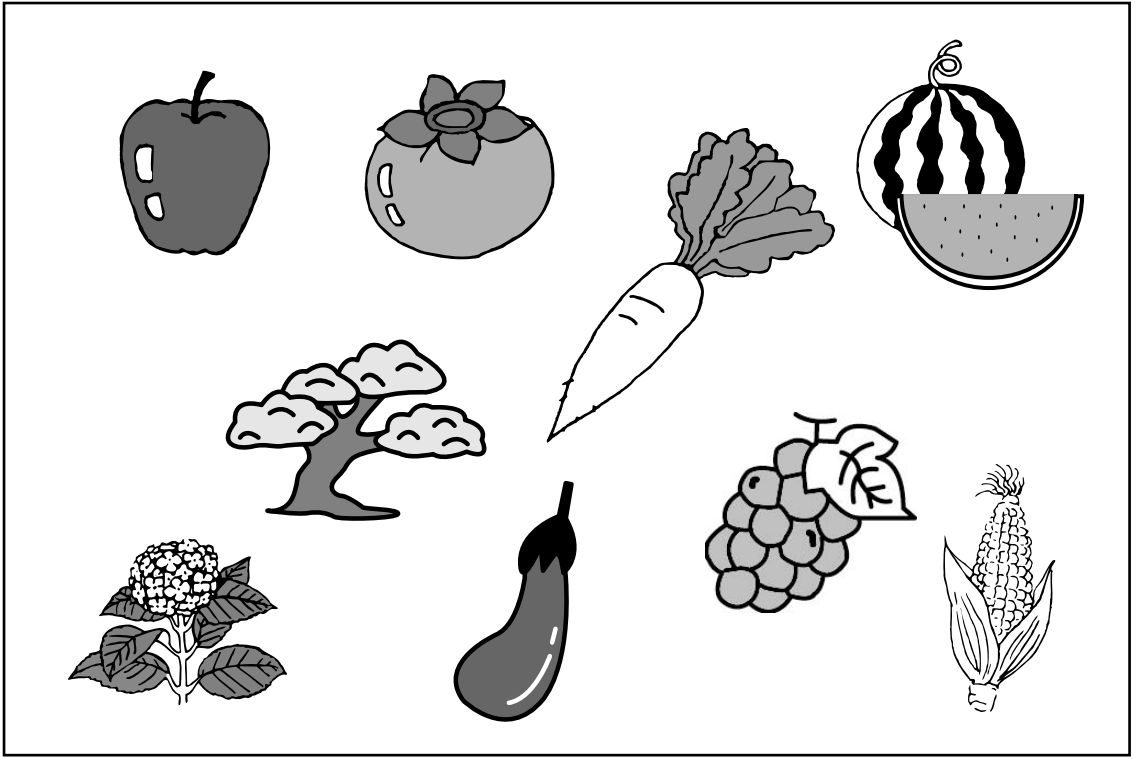
<トレーニングの方法>

- ① 図①のような用紙をたくさん作っておく。
- ② 図②のように、○△□×などを書き込む
- ③ 図②の用紙を15秒間見せてから、図①の用紙を渡して、同じ場所にあった印を描かせる。

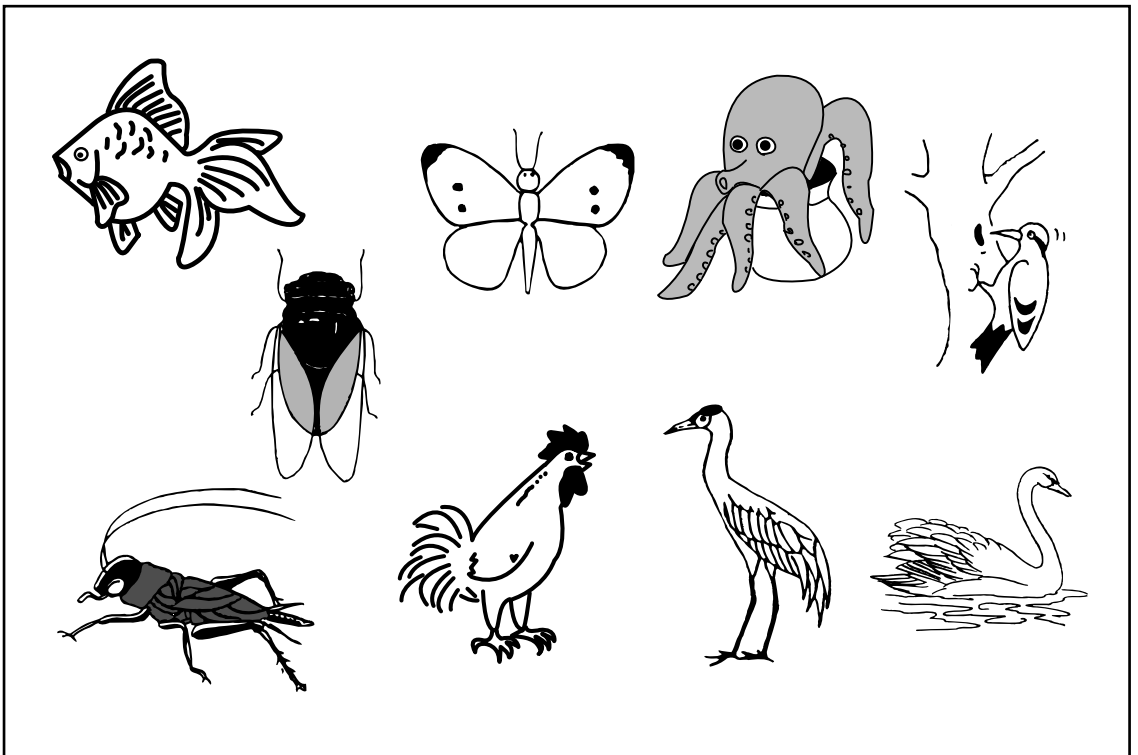


<例題 1> この絵をよく見てください。(各 15 秒間)

【指導者用用紙】 キリトリセンで切り取ってから使ってください。

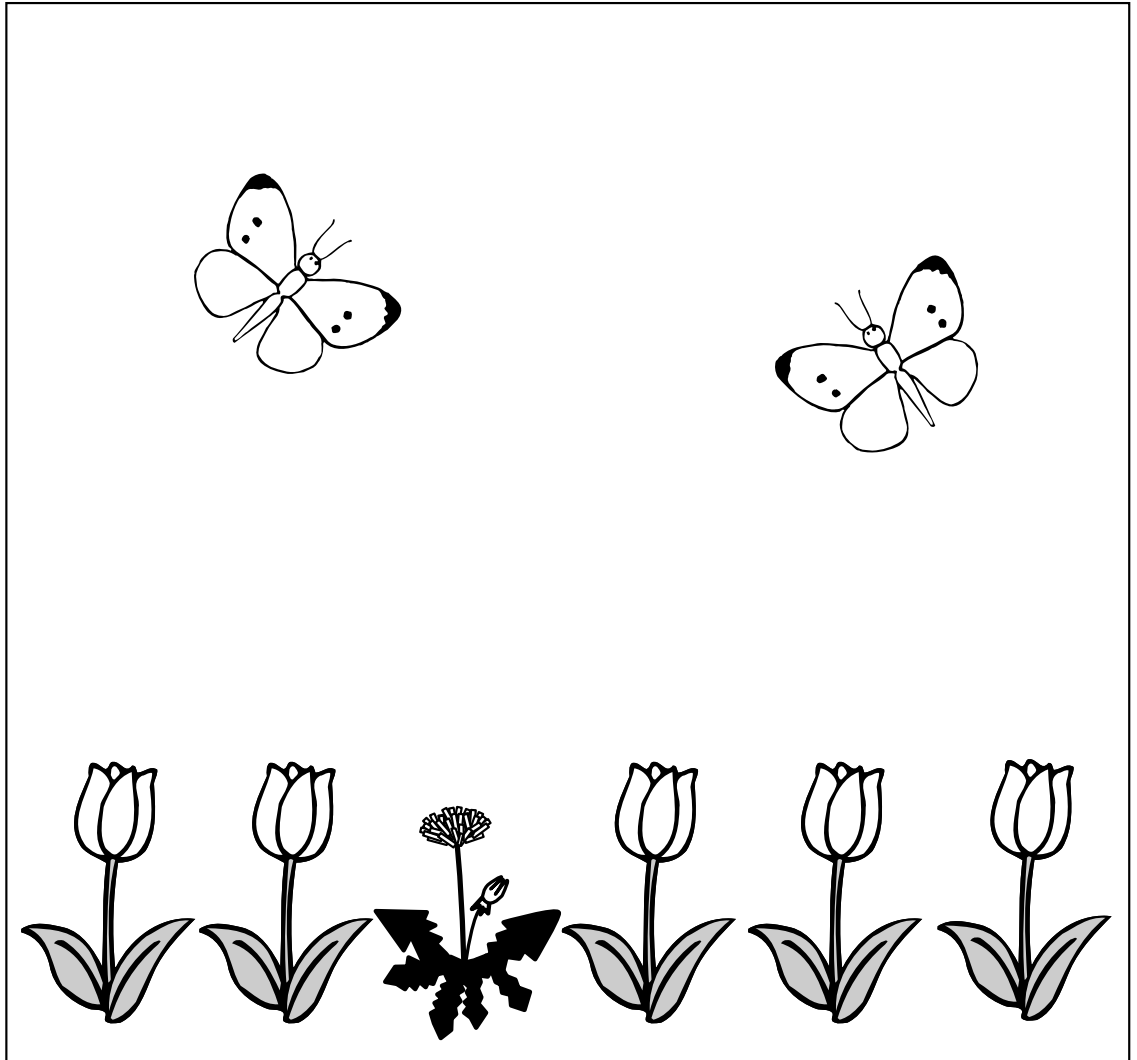


キリトリセン



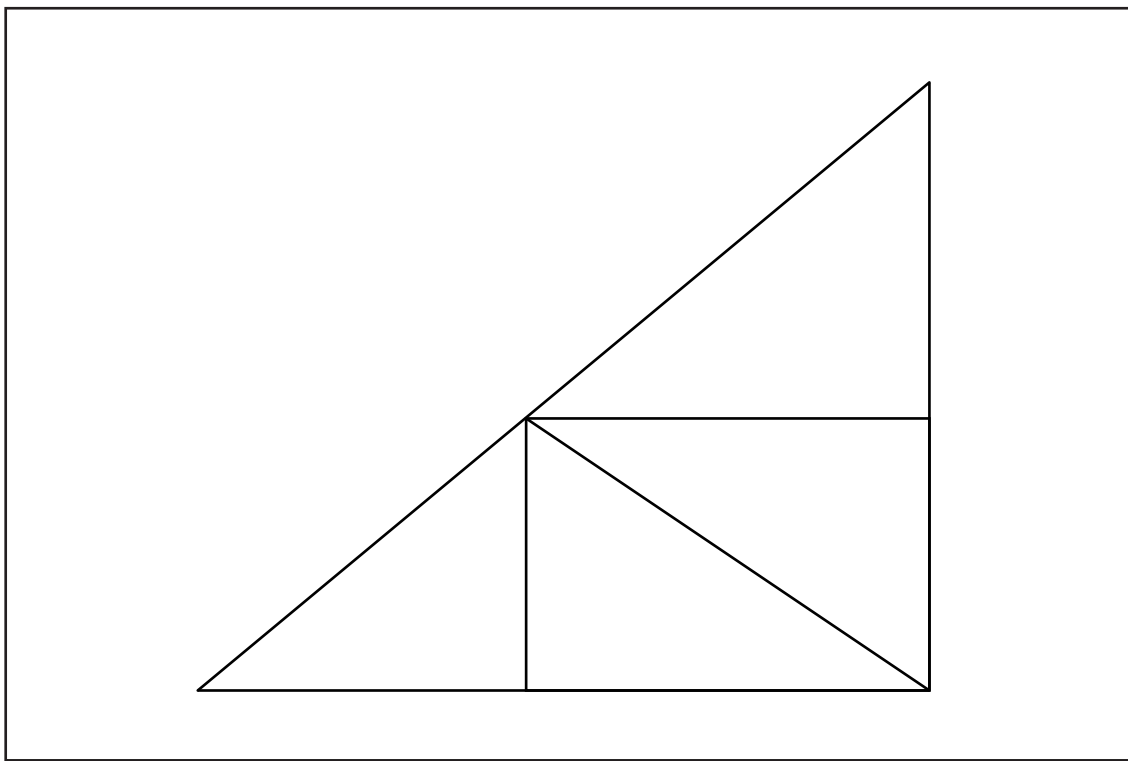
<例題3の解答用紙> 今見た絵と違うところを見つけて、×をつけなさい。

【解答者用紙】

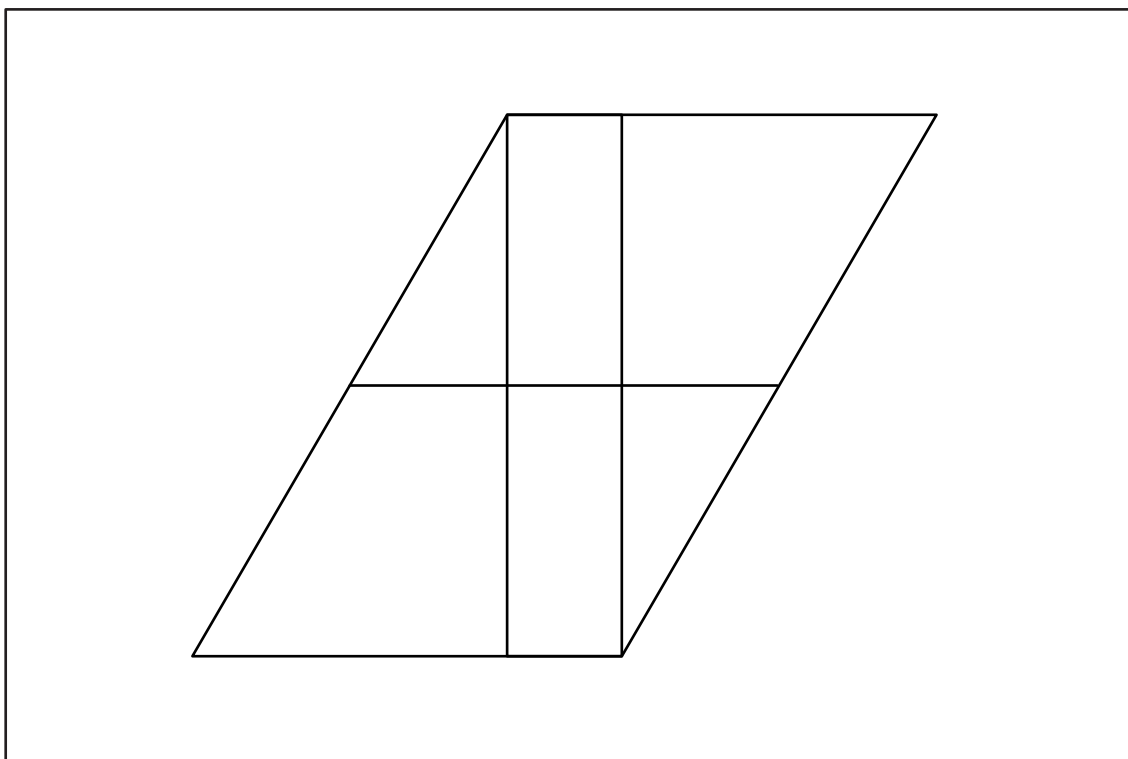


<例題 6 > この絵をよく見てください。(各 15 秒間)

【指導者用紙】


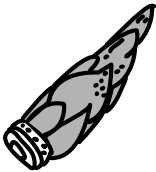












キリトリせん



<例題 8 > この絵をよく見てください。(15秒間)

【指導者用用紙】

< 例題10の解答用紙 >

問題（1） 子供は何人いましたか？その人数だけ○をかきましょう。

	
---	--

問題（2） リスは何匹いましたか？その数だけ○をかきましょう。

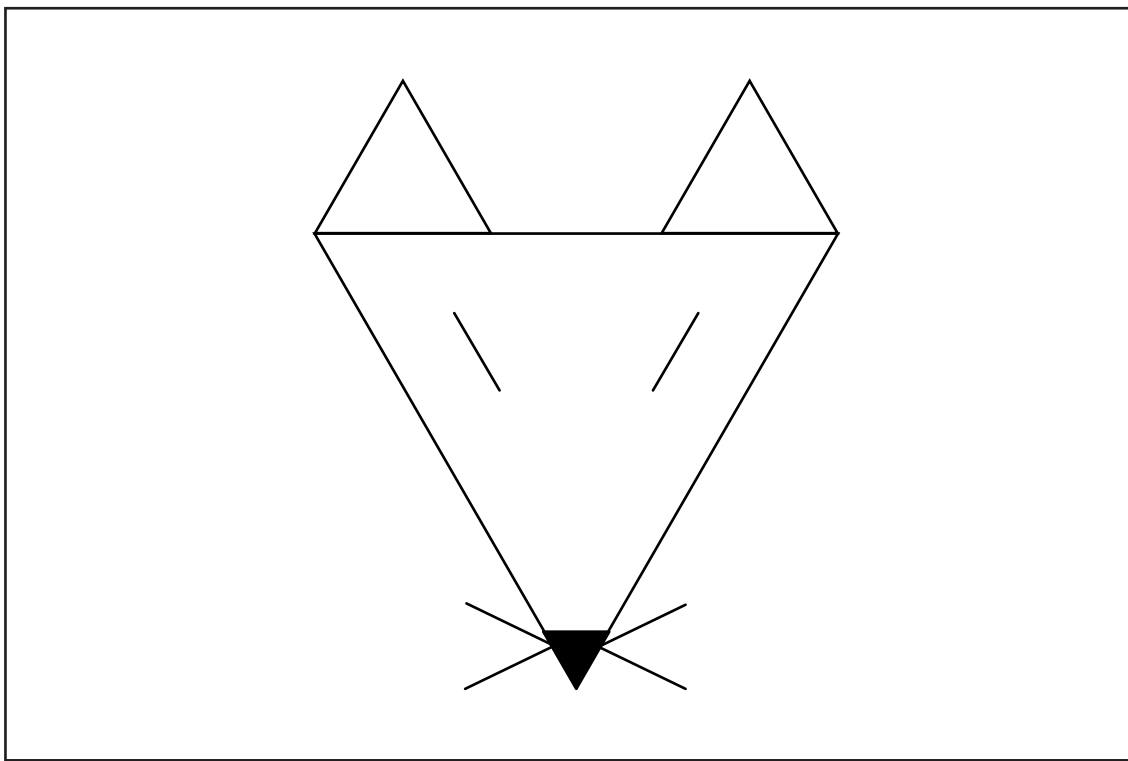
	
--	--

問題（3） どんぐりは何個ありましたか？その数だけ○をかきましょう。

	
---	--

<例題13> この絵をよく見て覚えてください。(各20秒間)

【指導者用紙】



キリトリせん

